

教頭就任のあいさつ

教頭 岩上 克己

平成二十九年四月多くの新任の先生方と新学期を迎えることができました。

新進気鋭の若さあふれる先生方。他校で豊かな経験を作ってこられた、教えることが大好きな老練な先生方。

本校に勤務し三十二年目、子を慮る親の思い。子供たちの計り知れない底力。そして広報部長を経験する中で感じた本校の客観的教育力。子供たちの為に何が不足し何ができていないのか。

日本の教育もグローバルスタンダードの流れの中で入試改革をはじめとする大きな変革が行われています。ITの有効活用

用能力、自己表現力、問題解決能力。二十一世紀型スキルといわれるものは、画一的ともみえない。今までの学びの見直しです。

本校では新一年生から新コースをスタートし、学びの質的改善を行いました。

「仏造つて魂入れず」という言葉がありますが、その新しい教育システムに魂を入れるのは我々教員であり、魂に内包されるものの中には、我々教員の更なるレベルアップも絶対条件です。教員の進化なくして子供たちの学力は伸びません。

松尾芭蕉が文芸・芸術の在り方について「奥の細道」という過酷な旅の中で体得したといわれ

平成二十八年度 主な大学の合格実績

〔国公立大学〕

筑波大学・東京海洋大学・埼玉大学・岐阜大学

〔私立大学〕

- 早稲田大学
- 東京理科大学
- 明治大学
- 青山学院大学
- 立教大学
- 中央大学
- 法政大学
- 國學院大学
- 成蹊大学
- 成城大学
- 明治学院大学
- 武蔵大学
- 芝浦工業大学
- 東京家政大学
- 女子栄養大学
- 東京女子医科大学
- 東京医科大学
- 獨協大学
- 二松學舎大学
- 白百合女子大学
- 日本大学
- 東洋大学
- 駒澤大学
- 学習院女子大学
- 共立女子大学
- 大東文化大学
- 亜細亜大学
- 帝京大学
- 国士舘大学
- 東京経済大学
- 拓殖大学
- 立正大学
- 東京電機大学
- 城西大学
- 駿河台大学
- 十文字学園女子大学
- 近畿大学 など

進路の日



卒業生が巣立ち、学年末試験を終え、在校生が真剣に進路を考える時が来ました。武蔵越生高校進路指導部では6月の大学・短大相談会と並び大きなイベントと位置付けて「進路の日」を設定しております。3月13日(月)、29の先生をお招きし、大学・短大・専門学校の講義を実際に聴講できるチャンスに生徒は意欲的に参加しておりました。

近年複雑化する入試に対応するべく、入学後の講義の受け方も含めて生徒の知りたいことを少しでも提供できるチャンスと捉えて欲しいと思っております。各HR担任は講座体験前の指導は勿論のこと、今後の進路指導に直結する学校行事と考えております。

看護医療系受講生の一人は、卒業後の進路先を「看護」と決め、「今から少しずつ勉強しつつ、オープンキャンパスに参加する意識を高めることができた」と感想を述べておりました。

進路指導部より

進路指導部長 柴田 裕克

平成二十八年度の卒業生の進路状況の特徴としては、難関大学に進学したいという生徒が増加傾向にあること、一般入試で多くの大学・学部に進学する生徒が増えたこと、一方で専門・専修学校進学を希望する生徒が減少したこと、などが挙げられます。就職希望者については進学に変更した生徒を除いた全員が就職を果たすことができました。

在校生に対しては、授業に集中して、進路指導部が提供する学習事項が定着するよう努めています。本校でも大学進学を希望する生徒がたいへん多いのですが、

今年度のセンター試験を二つの目安にして学習できるようサポートしていきます。また生徒一人ひとりの希望や適性に合わせた確かな進路指導を行うために、進路相談会や大学見学ツアー、大学や専門学校との先生による模擬授業(進路の日)、分野別進路ガイダンス、就職公務員試験受験ガイダンス、センター試験対策講座、入試直前対策講座など様々な進路イベントを計画・実施しています。

積み重ねを続け、潜在能力として持つ、新しい武蔵越生高校作り、今年度迎えた多くの先生方の力も借りて教頭職を務めていきたいと思っております。

卒業生合格体験記

菊池 将希(鯨井中出身)
早稲田大学
スポーツ科学部 スポーツ科学科



私が受験で一番大事にしていたことは、常にプラス思考でいることです。私は、もともとプレッシャーにめっぽう弱く、模試でも失敗を繰り返していました。そこで、徹底的にプラス思考であることを意識し、また試験場で自分なりのルーティンを決めました。そうすることで、精神的に余裕ができるようになり、本番も落ち着いて受けられました。受験勉強をしていて、結果が出ずに悩むときもあると思います。そんな時こそプラスに考えることを意識して、前向きに取り組んでください。反省ばかりでは最後まで持ちません。開き直ることも大事にしてください。最後は自分との戦いになります。支えてくれた周りの人たちに感謝しつつ、自分のために戦ってください。その先に楽しい大学生活が待っています!

森 祿子(原市場中出身)
埼玉大学
理学部 分子生物学科



大学受験で大切なのは最後まで勉強へのモチベーションを持ち続けることだと思います。私はセンターで思い通りの結果が出せず、二次試験の前に気持ちが折れてしまっていました。でも、そんな時は、サークルに入ったり、アルバイトをしたり、大学生になったらしたい事を思い浮かべて、気分を上げていました。勉強は周りの人と比べ過ぎず、自分のペースとやり方を続けた方がいいです。試験を受けられなくなることが一番怖いので、睡眠や食事をしっかりとって体調を崩さないよう気をつけてください。応援してます!

正木 雄太(鶴ヶ島藤中出身)
東京海洋大学
海洋生命科学部 海洋生物資源学科



これから受験を迎える皆さん、受験は気を抜かないことが大切です。センター試験の後、一カ月ほど間が空きますが、私は気を抜いて勉強のペースを落としてしまいました。なんとか後期で合格できましたが、皆さんは計画を立てて毎日コツコツ頑張ってください。また、時々息抜きをすることも大切です。お笑いを見たり、漫画を読んだり、歌を歌うのがおすすめです。最後に、海洋大生なので魚の話をしたしたいと思います。赤身の魚は持久力があるため、長い距離を泳ぐことができます。受験は長いので、タイやヒラメではなく、マグロのような持久力を持ち、息は抜いても気は抜かず頑張りましょう!